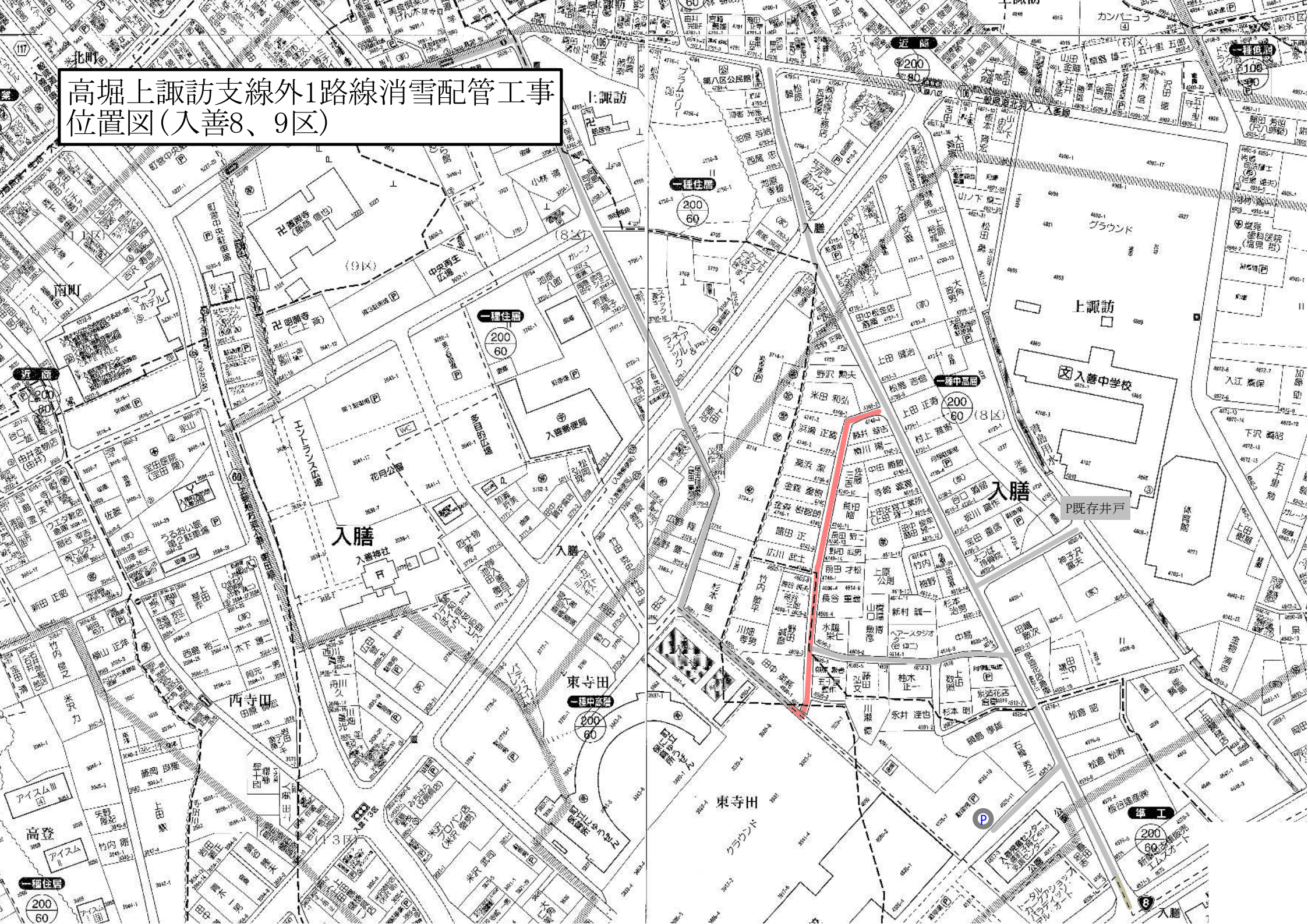


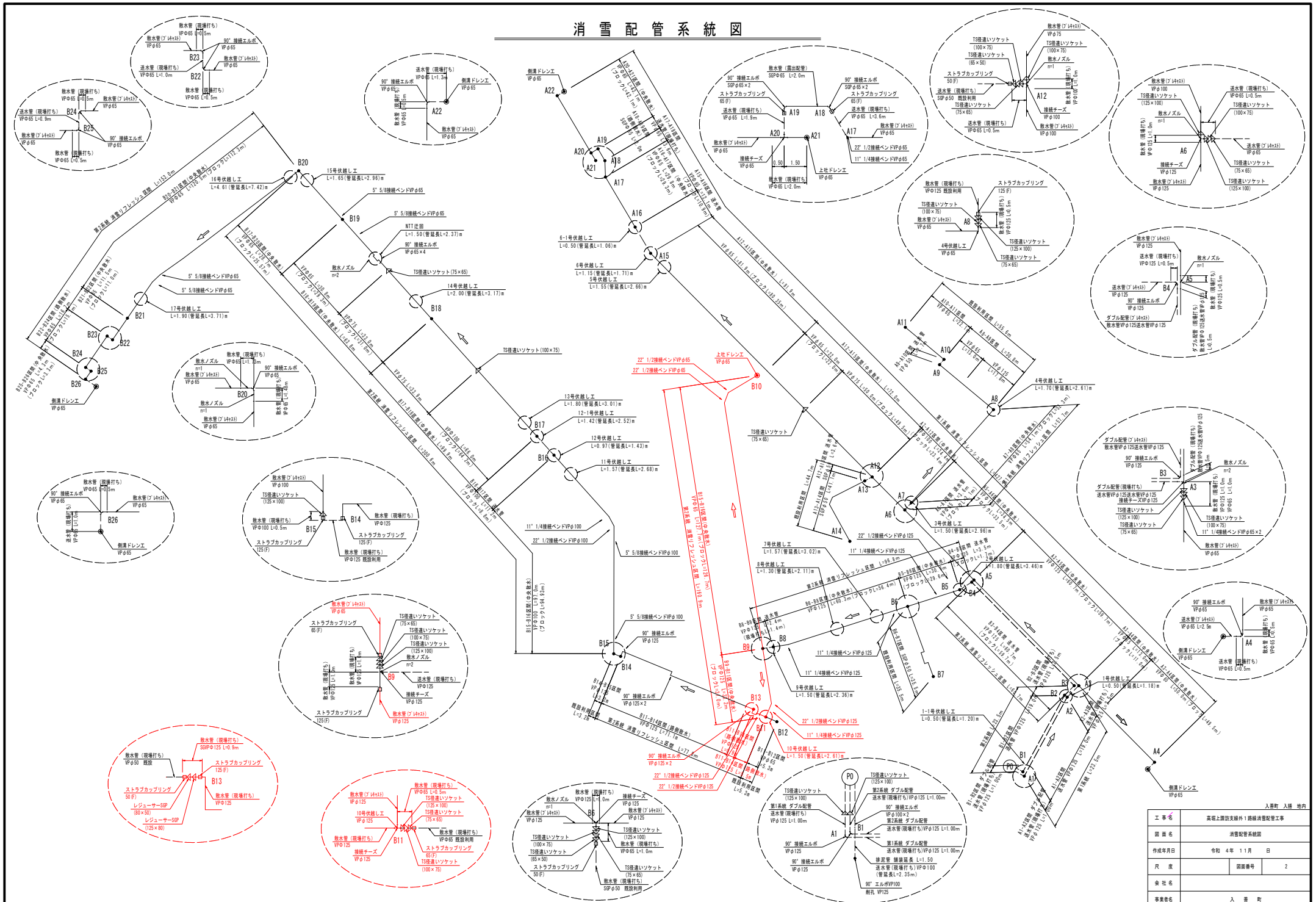
高堀上諏訪支線外1路線消雪配管工事
位置図(入善8、9区)





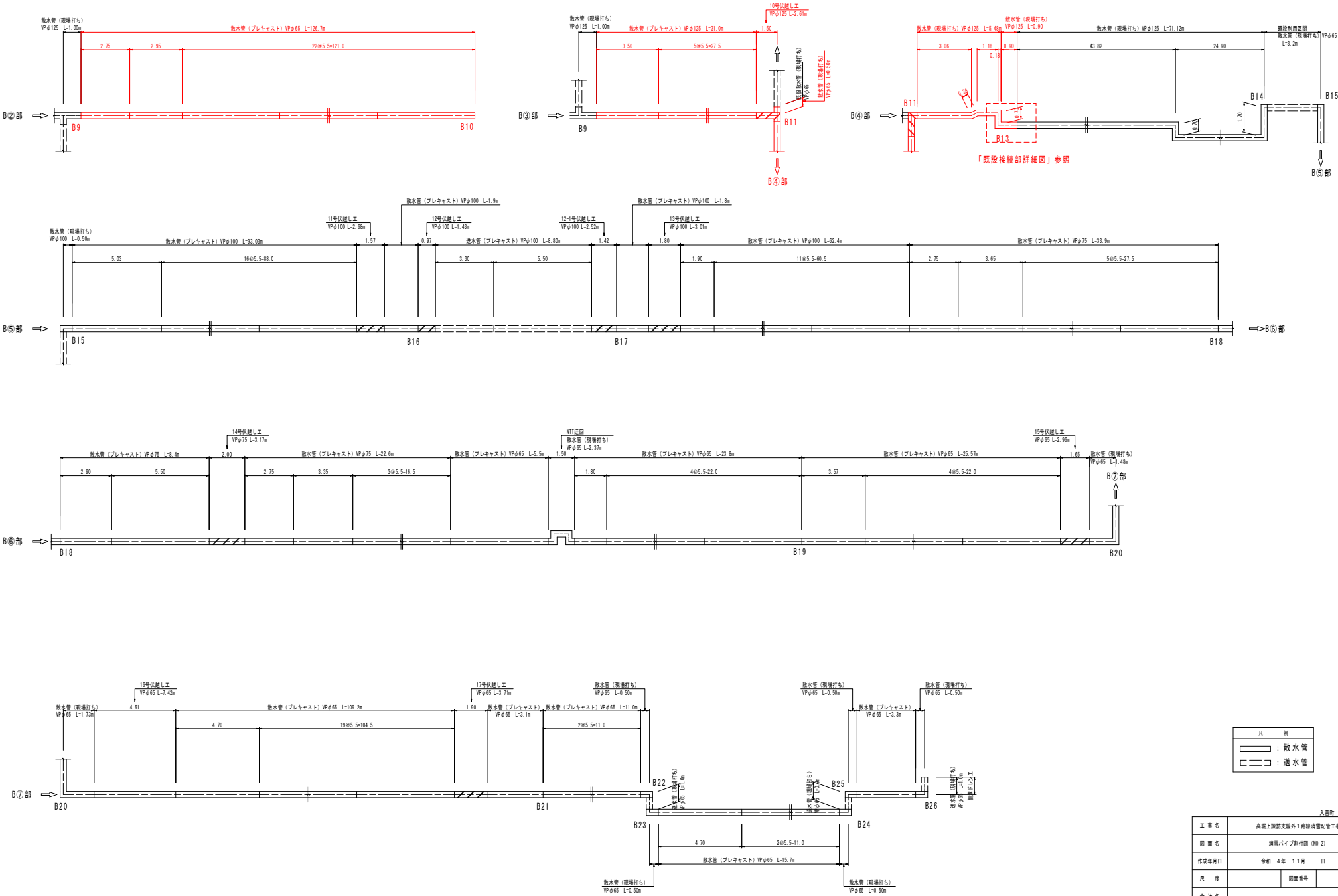
工事名	高層土留付工事・設備設置工事		
図名	高層土留付工事計画図		
作成年月日	令和 4年 11月	日	
尺 度	1:500	図面番号	1
番 号	入 入 入		
備考			

消雪配管系統図



工 事 名	高松上野支隊外1路線消雪配管工事
図 面 名	消雪配管系統図
作成年月日	令和 4 年 11 月 日
尺 度	図面番号 2
会 社 名	
事業番号	入 部 町

消雪パイプ割付図 (NO.2)

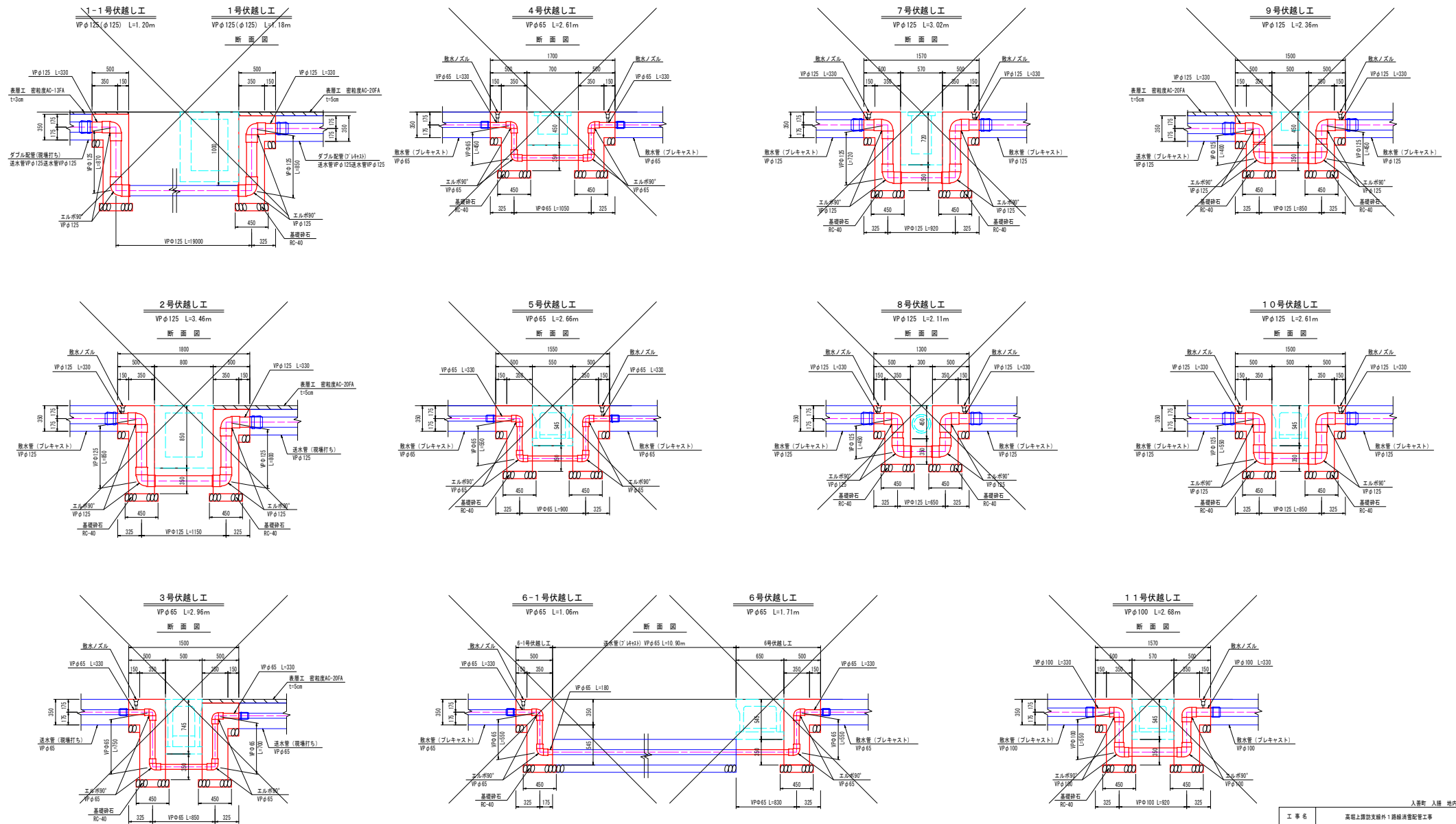


凡	例
	散水管
	送水管

工事名	高松上野放支線外1路線消雪配管工事		
図面名	消雪パイプ割付図 (NO.2)		
作成年月日	令和 4年 11月	日	
尺 度	図面番号	4	
会社名			
事業番号	入	番	町

伏越し工詳細図(N0.1)

縮尺 S=1/25

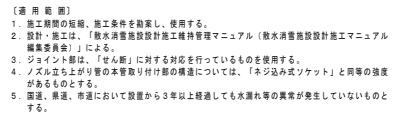
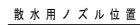


入番町 入番 地内	
工 事 名	高松上野放支線外1路線消費配管工事
図 面 名	伏越し工詳細図(N0.1)
作成年月日	令和 4 年 11 月 日
尺 度	1:25 図面番号 8
会 社 名	
事業番号	入 番 町

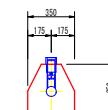
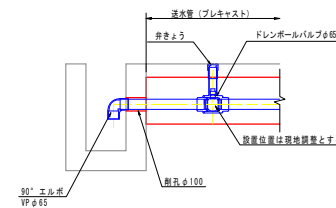
縮尺 $S=1/20$

種 別	摘 要 箇 所	管 径
A	車 道 部	VP65~125
B		VP150

散水管



- (仕 材)
1. 骨の材料は、樹脂骨 (VP) を標準とし、管骨は、VP65A～150Aとする。
 2. 基礎材料は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては10分層のものをいう。
 3. 基礎材料の厚さは10cm程度とし、施工は地盤に必要な場合 (5cm程度) をもてる。
 4. フロップ材は断面と側面との厚さは、数倍、数倍、コンクリートフロップをそれぞれ施す。
 5. フロップ材付、フロップ側面はセルタル等の防蝕剤を塗布して十分腐蝕防止を図る。
 6. 保護塗料は原則として亜鉛系塗料に合わせ、施工にあたっては、十分腐蝕防止を図る。
 7. フロップとフロップの間には締結目地を設けることとする。目地材は、耐腐蝕繊維質材とし、厚さ $t=10\text{mm}$ を標準とする。
 8. 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。



入善町 入膳 地内

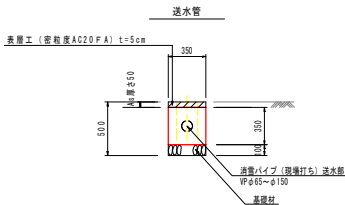
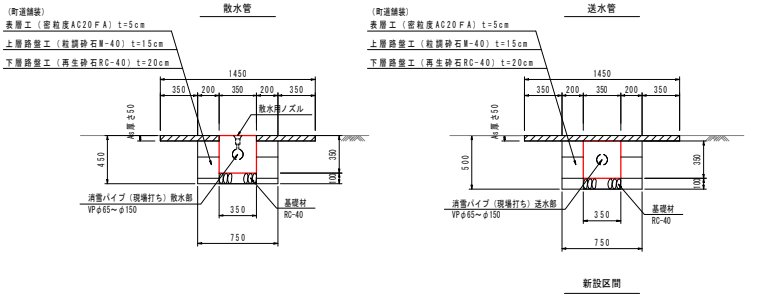
工 事 名	高松上防波支障1号線活管配管工事		
図 面 名	活管パイプ（プレキャスト）標準図		
作成年月日	令和 2年 1 月 日		
尺 度	1:20	図面番号	4
会 社 名			
事業所名	入 番 町		

消雪パイプ（現場打ち）標準図

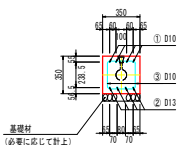
縮尺 S=1/25

設計条件	
設計軸荷重	50kN〔車道〕
耐摩係数	$\mu=0.4$
コンクリートの強度	[30-8-25] $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
構造物の分類	小橋造物(Ⅰ)
鉄筋の許容引張応力度	(SD295A) 180N/mm

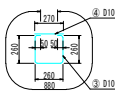
コンクリート巻立標準図
(VPφ65~φ150)



断面図



組立筋加工図



鉄筋表					5.50m 当り
番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)
1	D 10	4	5,390	0.560	12.074
2	D 13	4	5,390	0.995	21.452
3	D 10	23	880	0.560	11.334
4	D 10	23	270	0.560	3.478
D 13 以下 = 48.338kg					
※ 55.0m当り D 13 以下 = 483.380kg					

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

〔適用範囲〕

- 施工期間の短縮、施工条件を改善し、使用する。
- ジョイント部は、「排水消雪施設設計施工標準仕様マニュアル(排水消雪施設設計施工マニュアル編纂委員会)」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
- ノズル立ち上がり管の本管取り付け管の構造については、「ネジ込み式(ケット)」と同等の強度があるものとする。
- 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

〔仕様〕

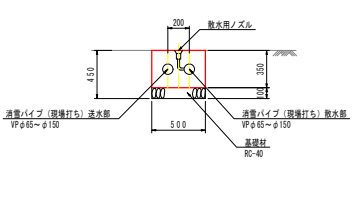
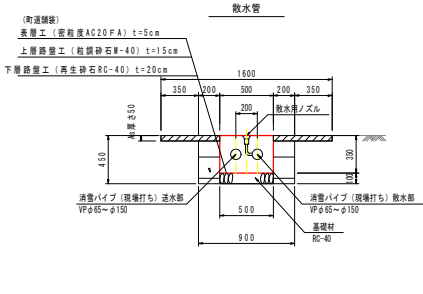
- 管の材料は、樹脂管(VP)を標準とし、管径は、VP65A~150Aとする。なお、仕様書は、SDP等を使用する。
- 基礎材は再生砕石(RC-40)を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
- 基礎材の厚さは10cm程度とする。
- 地盤圧力係数 $\gamma \times 10^4 \text{N/m}^2$ 以上の地盤に適用する(よく締め固められた砂道じり砂利)。

コンクリート等数量表										5.50m 当り
	VPφ65	VPφ75	VPφ100	VPφ125	VPφ150	換 算				
全体断面積	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	0.35	×	0.35	m ²	
パイプ断面積	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi \phi^2/4$			m ²	
実断面積	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	①-②			m ²	
コンクリート体積	0.649	0.640	0.616	0.589	0.556	①×5.50+			m ³	
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	①×10 =			m ³	
※ 目地材	10ヶ所	(55.0m/5.50m)×0.123m ² =	1.23m ²			×10mm				
※ 路盤紙		0.35m × 55.0m =	19.25m ²							

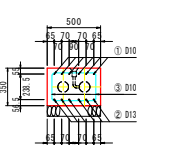
(注) 1. 基礎クラシヤーを入れる場合は路盤紙を計上しない。

2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

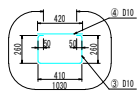
コンクリート巻立標準図(ダブル管)
(VPφ65~φ150)



断面図

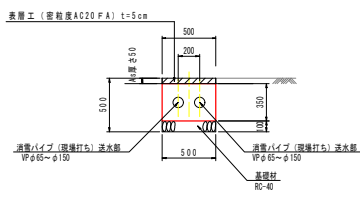
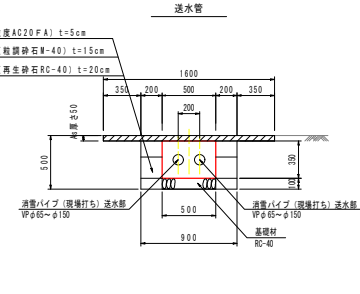


組立筋加工図

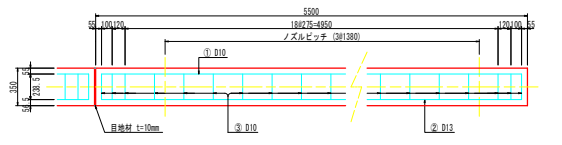


鉄筋表					5.50m 当り
番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)
1	D 10	6	5,390	0.560	18.110
2	D 13	6	5,390	0.995	32.178
3	D 10	23	980	0.560	12.622
4	D 10	23	370	0.560	4.766
D 13 以下 = 67.676kg					
※ 55.0m当り D 13 以下 = 676.760kg					

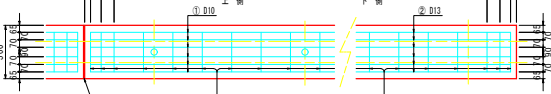
(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。



断面図



組立筋加工図



コンクリート等数量表										5.50m 当り
	VPφ125	VPφ125	VPφ125	VPφ125	VPφ100	VPφ125	換 算			
全体断面積	0.175	0.175	0.175	0.175	0.175	0.50	×	0.35	m ²	
パイプ断面積	0.0199	0.0216	0.0256	0.0208		$\pi \phi^2/4$			m ²	
実断面積	0.1551	0.1534	0.1494	0.1442		①-②			m ²	
コンクリート体積	0.853	0.844	0.822	0.793		①×5.50+			m ³	
※ 55.0m 当り	8.53	8.44	8.22	7.93		①×10 =			m ³	
※ 目地材	10ヶ所	(55.0m/5.50m)×0.175m ² =	1.75m ²			×10mm				
※ 路盤紙		0.45m × 55.0m =	24.75m ²							

(注) 1. 基礎クラシヤーを入れる場合は路盤紙を計上しない。

2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

入札者 入札 地内			
工事名	高松上野支線外1路線消雪配管工事		
図面名	消雪パイプ（現場打ち）標準図		
作成年月日	令和 4年 11月	日	
尺 度	1:25	図面番号	7
会社名			
事業者名	入 札 町		